





## 世界自動車調査月報

- 欧州・北米中心に現地取材報告を交えて自動車・市場・部品産業動向を調査分析
- 欧米主要自動車・部品メーカーの経営戦略・事業展開を様々な視点から分析
- 世界の自動車業界を一望する特集を掲載、BRICs特集も充実
- 中近東、アフリカ、中南米、大洋州の自動車市場・産業動向も毎号掲載
- 卷末に月次世界別生産(27カ国)・販売(46カ国)統計、世界メーカー別シェア動向を収録

世界自動車市場では新興国が占める比率が過半数を超えています。ただし新興国といつても、各国の市場ニーズは様々で、また各成長テンポも異なりリスクも潜在します。自動車・部品各社とも市場の特性や各国事情を見据えた上での新興国戦略が問われます。一方、成熟市場の欧米では燃費性能、安全運転支援システムやインフォテイメントが焦点となっており、各社にとってこうした分野での技術強化が必須となっています。

-毎月世界各国の月次生産・販売台数速報を掲載(生産27カ国、販売46カ国のデータを掲載し世界の9割以上をカバー、掲載国は随時追加予定)。

-主要自動車メーカー各社の市場シェアも毎月速報。

■発行:毎月5日 ■体裁:A4判・標準66頁 ■創刊:1987年5月  
■購読料:年間240,000円+税 国内送料込  
半年120,000円+税

## ASIA



## アジア自動車調査月報

- アジアの発展を成長機会に変える
- 産業政策・制度変更を迅速に報告
- 現地系メーカーの成長戦略を分析
- 日米欧系各社のアジア戦略を分析
- 月次自動車生産・販売統計を掲載

高い成長性とコスト競争力を内包するアジア自動車産業。タイとインドネシアでは自動車販売がそれぞれ100万台を超えており、マーケットとしての重要性が一層高まっています。世界有数の自動車大国となったインドでは、ディーゼル車販売が急拡大するなど、事業環境が目まぐるしく変化。また韓国やASEANなどは電動化推進に向けて始動しています。当月報ではアジアの市場動向、産業政策、メーカー各社の事業戦略を報告します。

■発行:毎月20日 ■体裁:A4判・標準53頁 ■創刊:2007年1月  
■購読料:年間216,000円+税 国内送料込  
半年120,000円+税

## OTHERS



## ロシアトルコ中東欧自動車・部品産業 2013

- ロシア自動車・部品産業の現状と展望を報告
- トルコ自動車・部品産業の最新動向を掲載
- R&D拠点化進む

## 中東欧諸国の自動車・部品産業

ロシアは欧州最大の自動車販売国への成長が確実視されており、現地では政府の国産車優遇策を活用する自動車各社が生産能力増強を進め、グローバルサプライヤーの新規投資も活発化しています。欧州市場向け供給拠点として発展するトルコと中東欧諸国では、自動車・部品各社のR&D拠点が増えており、新たな注目を集めています。

本書では、ロシアなどのCIS諸国及びトルコ、中東欧諸国の自動車産業の現況を報告いたします。

■発行:毎月月末 ■体裁:A4判・標準65頁 ■創刊:1996年4月  
■購読料:年間216,000円+税 国内送料込  
半年120,000円+税

## CHINA



## 中国自動車調査月報

- 中国自動車産業/市場/政策運営を速報
- 中・外資系メーカーの事業動向を分析
- 中国省エネ・新エネ車産業の現状を報告
- 産業政策、技術規格規制動向を分析
- 月次生産・販売・税関データを収録

中国は2009年から世界最大の自動車生産国となり、世界メーカーからの注目が一層高まっています。近年は外資系メーカーの現地開発も進み、中国は生産だけではなく開発拠点としても現地化が進んでいます。中国政府は省エネ・新エネ車の普及に力を入れており、メーカー各社は最先端の技術を中国に導入し、競争が激化する中国市場でシェア争いを繰り広げています。「FOURIN中国自動車調査月報」では、中・外資系メーカーの最新の動向や産業政策を取り上げ、中国自動車産業の現況を報告いたします。

■発行:毎月月末 ■体裁:A4判・標準62頁 ■創刊:1999年4月  
■購読料:年間216,000円+税 国内送料込  
半年120,000円+税

## JAPAN



## 日本自動車調査月報

- 日本自動車各社の世界展開を網羅
- 部品各社の事業戦略をレポート
- 小型車/次世代環境車戦略を分析
- 国内の政策/規制や市場動向を分析
- 世界生産/販売の月次データを掲載

日本自動車産業は、電動化による次世代環境戦略と低価格車による新興国戦略を軸に成長戦略を推進しています。同時に昨今の円高進行が業界各社の収益を圧迫する中、世界最適生産・調達体制の早急な構築が問われています。

「FOURIN日本自動車調査月報」は、日本自動車産業の事業環境・成長戦略を多角的に分析。完成車・部品各社の経営戦略、製販体制、製品/技術動向、調達政策など、分析対象は多岐にわたります。

■発行:毎月15日 ■体裁:A4判・標準62頁 ■創刊:1999年4月  
■購読料:年間216,000円+税 国内送料込  
半年120,000円+税

## 米国電気自動車開発競争



- 連邦政府と加州の燃費規制を詳報
- 電動化推進と市場成長性を展望
- 米国市場向けHEV、PHEV、EV等製品スペック概要を収録
- 自動車各社の次世代車戦略を分析

米国では、地球温暖化対策へ改めて燃費規制を強化するほか、政府が電気自動車普及方針を掲げております。米国市場を舞台に世界の主要自動車メーカーが電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車の開発計画を強化しております。本調査資料は、米国の自動車環境規制と産業政策の最新動向をまとめるとともに、日米欧韓の自動車メーカーが米国市場向けに計画するハイブリッド車、プラグイン・ハイブリッド車、電気自動車などの環境車戦略動向を分析するものです。

■発行:2009年11月 ■体裁:A4判・212頁  
■価格:120,000円+税、国内送料込

## 欧州自動車産業



- 低燃費を競う各社の戦略を分析
- 欧州各社の新興国戦略を分析
- 欧州9社の経営動向、日本各社、現代自の欧州事業動向を詳報
- 欧州市場の構造変化・主要動向

欧州の自動車各社は、成長戦略の軸足をグローバル事業に移して新興国事業強化を進め、新興国で存在感を強めています。一方、欧州では動力性能向上と燃費改善を両立する新技術開発に加え、EVやPHEVの開発計画も進行中です。日本メーカーは競争環境の変化に対応し、競争力強化を図る時機を迎えています。本書では、欧州の環境政策と自動車各社の燃費低減・電動化戦略を特集、グローバル事業展開の焦点について分析しています。

■発行:2011年4月 ■体裁:A4判・323頁+CD  
■価格:120,000円+税、国内送料込

## アジア自動車産業



- アジア自動車産業の発展戦略を分析
- アジア自動車生産の将来像を分析
- 主要メーカーの事業戦略・動向を報告
- 自動車市場規模と需要構造を解剖
- 各国モデル別販売統計を収録

アジアでは、2015年に自動車市場が1,000万台に達することに加え、輸出拠点化が進むため、自動車生産が1,600万台に達すると予測されます。このなかで内需拡大や投資優遇策などを背景に増産投資を獲得する国がある一方、成長戦略が描けていない国もあり、成長見通しには格差が広がっています。また、廉価車投入で新たなコスト競争の時代に入っています。本書では、これらの動向をまとめ、アジア自動車産業の将来の発展シナリオを分析しています。

■発行:2011年3月 ■体裁:A4判・360頁  
■価格:140,000円+税、国内送料込

## 世界自動車部品産業年鑑

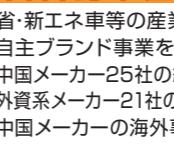


- 日米欧主要100社の経営状況を独自分析
- 先進国/新興国自動車生産比率逆転後の部品産業界の競争環境をレポート
- 軽量化/低燃費/安全技術の最新動向を一覧
- 日米欧亞350社の製品マトリクスをCD収録

新車市場1万台が近づく中、拡大需要を取り込みを狙ったグローバルサプライヤーの競争焦点として、軽量化、低燃費の重要度が高まっています。またアジアでは年商10億ドル超の現地サプライヤーが多く誕生し、現地自動車市場の発展と輸出拡大を背景に今後も売上拡大が見込まれます。本書は軽量化/低燃費/安全技術動向とともに、主要Tier1サプライヤー100社の戦略動向を収録いたしました。

■発行:2013年8月 ■体裁:A4判・238頁  
■価格:140,000円+税、国内送料込

## 中国自動車産業



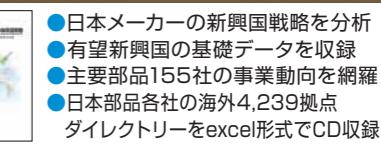
- 省・新エネ車等の産業政策を収録
- 自主ブランド事業を詳報
- 中国メーカー25社の経営戦略を分析
- 外資系メーカー21社の中国戦略を網羅
- 中国メーカーの海外事業動向を整理

中国自動車産業は2011年の生産台数が前年比0.8%増の1,842万台と鈍化しました。日系は東日本大震災の影響により4.4%増と低迷ましたが、欧米韓は全て2桁の増加を維持し好調です。中国政府は市場成長鈍化の中で外資系メーカーに対して、中国パートナーとの合弁ブランド育成と、省・新エネ車を始めとした技術移管を強く求めています。

当調査報告書は中国系25社、外資系21社の中国経営戦略を分析しました。

■発行:2012年2月 ■体裁:A4判・293頁+CD  
■価格:120,000円+税、国内送料込

## 日本自動車部品メーカーの新興国戦略



- 日本メーカーの新興国戦略を分析
- 有望新興国の基礎データを収録
- 主要部品155社の事業動向を網羅
- 日本部品各社の海外4,239拠点
- ダイレクトリーをexcel形式でCD収録

日本自動車部品産業は、2011年度に新成長戦略を打ち出し、不況にも需要が堅調な新興国への投資を加速。日本は先端技術開発の中核を、欧米は環境・安全規制等に対応した技術開発を、アジアは現地向け低価格製品の開発を担うといった役割明確化で、新興国と環境の2大テーマに取り組んでいます。

本書は、日本主要部品各社の新興国戦略にスポットを当てながら、経営戦略、収益動向、国内外での生産・開発動向、新技術などを網羅しています。

■発行:2011年11月 ■体裁:A4判・232頁+CD  
■価格:95,000円+税、国内送料込

## 北米自動車部品産業



- 北米でのサプライヤーの最新戦略を詳報
- サプライヤーの南部移管動向を報告
- ダウンサイジング最新動向を特集
- 完成車各社の最新調達動向を詳報
- 3,000カ所以上収録のダイレクトリー

北米小型自動車生産が2012年に1,500万台レベルを回復。リストラで北米生産体制を縮小したサプライヤー各社にとって、欧州の低迷や新興国が成長鈍化に見舞われる中、北米事業の重要性が高まっています。更にメキシコへの生産移管、中国サプライヤーによる北米サプライヤーの買収など再編が激化しています。本書は今後予想される再編や競争激化に対応するサプライヤーの戦略や最新動向を詳報します。

■発行:2013年2月 ■体裁:A4判・278頁+CD  
■価格:148,000円+税、国内送料込

## 欧州自動車部品産業



- 部品メーカーのBRICs事業を分析
- 環境安全製品の最新動向を報告
- M&Aによる業界再編動向を報告
- 欧州部品120社の事業概要を収録
- 欧州4,361社のダイレクトリー

欧州の自動車部品業界は、自動車産業へのCO<sub>2</sub>削減要請を成長機会ととらえ、次世代の製品技術を競って提案しております。一方、中国、印度等のBRICsの事業を強化、新興国市場向けの超価格車への対応を積極的に推進しています。本書では、2010年代の成長に向けた二つの課題を特集、環境安全技術への提案を活発化する欧州部品産業の最新動向と、新たな挑戦を始動した新興国事業展開の分析に焦点を当てて報告します。

■発行:2008年3月 ■体裁:A4判・336頁+CD  
■価格:120,000円+税、国内送料込

## アジア自動車部品産業



- アジア部品産業の成長戦略の解剖
- 主要9カ国の政策・競争力を分析
- 完成車各社の生産・調達動向を解説
- 部品企業100社の経営動向を分析
- 8カ国2,970社ダイレクトリーを収録

アジア部品産業は存在感を増しています。域内の完成車生産拡大に加え、高いコスト競争力を背景に輸出拠点化も進行しており、グローバルなサプライチェーンのなかにより深く組み込まれています。また、韓国や台湾では環境分野に注力する動きも広がっており、多様な発展を遂げようとしています。本書では、主要各國の成長シナリオ、主要完成車メーカーの生産・調達戦略、部品企業の経営動向をまとめ、分析しています。

■発行:2011年11月 ■体裁:A4判・230頁+CD  
■価格:140,000円+税、国内送料込

## 中国進出日系自動車・部品メーカー総覧



- 日系部品企業の製品別取引先一覧を掲載
- 地域別に日系部品企業1,274拠点を詳報
- 日系自動車メーカー90拠点の概要を収録
- 年・地域・製品別に日系企業進出を分析
- 日系企業の開発事業動向及び計画を報告

日系自動車メーカーは、日中関係悪化の影響を受け、中国乗用車生産が2012年に前年比10.6%減の252万台になりましたが、2015年に倍増の500万台をめ